

平成 31 年 4 月 6 日

呉広域商工会
経済活性化委員長 殿

中小企業診断士 木村武則

平成 30 年度 呉広域商工会 経営発達支援計画の実績評価
平成 30 年度（平成 30 年 4 月 1 日～31 年 3 月 31 日）の「経営発達支援計画に係る目標管理表」の各項目の目標設定・実績について評価を行いましたので報告いたします。

■総評

年間の数値目標に対する数値実績

評価基準による実績の評価は、A（達成度 120%以上）が 26 項目、B（100%以上）が 24 項目、C（達成度 80%）はゼロであり、目標を上回る成果が 52%、目標をほぼ達成が 48%の結果となっています。平成 30 年度は 30 年 7 月に豪雨災害があり、商工会職員・事業者の方々には経営発達支援計画の推進と共に災害復旧対応にも尽力され大変な年でしたが、計画全般として過半数の項目について目標を上回る成果を達成されました。

SNS 等で情報発信をしている企業 100 社の状況表では、今年度ホームページの新規開設が 11 社あり持続化補助金・IT 補助金を活用し IT 化が進んでいることが窺えます。今後も持続化補助金、IT 補助金を活用してホームページ開設等 IT 化の推進が必要と思います。

昨年の豪雨災害を教訓に BCP 計画（事業継続計画）策定の必要性がクローズアップされています。天災、政治・経済情勢、取引、人材等のリスク対策として BCP 計画作成が必要と思います。これまでも BCP 計画の作成の必要性は言われていましたが浸透していなかったようです。国も BCP 計画作成を積極的に推進し、この度の豪雨災害を機に BCP 計画の作成に取り組む商工会・事業所が増えています。

■項目別

①地域経済動向調査（指針③）

観光客動向調査等の自己評価は全般評価として B 評価で目標を達成しています。商圈分析調査や業種別審査事典、商圈分析レポート（市場調査評価ナビ）を活用し個社支援に活かした取り組みを行っています。今後も各種調査の結果を経営改善等の適切なアドバイスに活用されることが望まれます。

②経営状況分析（指針①）

巡回相談件数は B 評価で目標を達成し、窓口相談件数・財務分析数・定性分析数、確定申告支援件数は目標を上回る実績で A 評価となっています。巡回相談ではヒヤリング必須 8 項目を

設定して事業所の現状・課題の抽出を行い経営計画の策定へ繋いでいます。経営計画策定導入時のヒヤリングは最も重要な部分であるので、ヒヤリングの技術（質問・傾聴）の向上・研鑽に努めていただきたいと思います。

③事業計画策定支援（指針②）

全体では、A評価7項目、B評価6項目で全般に目標を達成しています。

- ・事業承継相談件数は、27回以上の目標に対して実績は 149回で相談回数が大幅に増加しています。広島県は後継者不足が73%で全国のワースト5に入っており、事業承継の取り組みが必要な状況にあります。事業承継相談から承継計画作成・実施へと継続して支援を行なっていただきたいと思います。親族・従業員外の事業承継（M&A）相談は事業引き継ぎ支援センター（広島商工会議所内）の活用も必要と思います。

④ひとづくり支援

A評価2項目、B評価2項目で全般に目標を達成しています。人材マッチング支援は3件の目標に対して3件の実績。生産性向上・人材育成の企業数は10件の目標に対して12件（12社）の実績となっています。人材不足の状態が続いており人材確保、人材育成は重要な項目です。

⑤事業計画実施支援（指針②）

巡回によるフォローアップ等の件数は A評価で目標を上回る成果となっています。事業計画は計画を実施して初めて成果が上がるので実行支援は非常に重要であり、経営革新計画、事業承継、創業等のフォローアップにより事業者の経営向上に貢献しています。

⑥需要動向調査（指針③）

- ・都市圏のアンテナショップ「銀座タウ」「ひろしま夢ぷらざ」での出展事業者および出品項目の需要動向等の調査のフィードバック数は B評価で目標を達成しています。
- ・域内の販路開拓商談件数、販路開拓成約件数項目については、首都圏及び海外等への販路開拓を行い13社の目標に対し21社の実績で目標を上回るA評価の実績となっています。

⑦新規需要開拓（指針④） ことづくり支援

6項目のうちA評価3項目、B評価3項目で目標を達成しています。

- ・クレコレ商品のチーム型支援は8品目の目標に対してジビエ、タコキムチ他のブラッシュアップ実績8品目となっています。
- ・販路開拓支援企業数は目標8社に対して、岡本水産他実績8社で目標を達成しています。
- ・特産品やグルメ店の個店紹介は 24店舗の目標に対し実績は 48店舗の実績で計画を大きく上回る成果となりました。

商工会のブログやSNS、マスコミへの継続的なプレスリリースを定期的に行い、地域の個店紹介により、個店の売上向上に貢献しています。SNS等のITを活用した個店紹介は効果が大きいので

で今後もグルメマップ等 IT を活用した個店支援を推進していただきたいと思います。

⑧地域経済活性化

- ・クレワングランプリ大会の開催、事例発表大会・オールクレ異業種交流会は目標通り開催し、域内、域外への販路開拓に貢献しています。(B 評価)
- ・他の支援機関との情報交換による支援ノウハウの向上は、28 回以上の目標に対して 54 回の実績で目標を上回る成果を挙げています。県、市、公的機関との情報交換、支援により、商品開発、販路開拓、人材採用・育成の分野でノウハウを習得しています。

⑨経営指導員資質向上に関すること

30 年度は勉強会の開催、専門家等とのチーム型支援による OJT、ウェブ研修を目標目標として実施しました。勉強会開催は B 評価、OJT 研修は A 評価、ウェブ研修は B 評価で目標を達成しています。

経営指導員の資質向上は OFF—JT による集合研修に加え、専門家との同行等による支援現場での体験 (OJT) が重要であるので今後も OJT を充実していただきたいと思います。

毎月 1 回経営指導員による勉強会は、課題抽出能力、プレゼンテーション能力の向上等に有用であるので継続していただきたいと思います。

⑩事業の評価及び見直しに関すること

経済活性化委員会の開催は A 評価、商工会に掲載したホームページでの公表は B 評価で目標を達成しています。30 年度評価のホームページでの公表は総代会終了後公表の予定。

⑪中長期目標

経営発達支援計画の初年度（平成 30 年 4 月）から 5 年後（令和 4 年 3 月）までの 5 年間の中長期目標と実績は下記の通りです。

- ・特産品開発支援品目数 5 年後に 40 品目…平成 30 年度実績 8 品目
- ・新たな販路開拓支援 5 年後に 40 社…平成 30 年度実績 10 社
- ・観光振興支援・プチグルメ数社数 5 年後に取扱店 24 社…平成 30 年度実績 56 社
- ・生産性向上・人材育成支援企業数 10 社…平成 30 年度実績 12 社
- ・企業の健康診断（財務分析）実施提供件数 100 件…平成 30 年度実績 121 社
- ・確定申告指導件数 300 件…平成 30 年度実績 486 社

以上